



学校だより

みつめ みがきあい みらいをひらく 南神の子

南神大寺小学校

7 月 号

令和5年6月30日



みなかん HP

とも そだ 共に育てる

こう ちゆう いわた かずや
校長 岩田 和也

毎朝、登校してくる子どもたちを門で迎えていると、あいさつの後に、空を見上げながら「校長先生、今日はプール入れるかな？」と尋ねてくる子が白に白に多くなり、梅雨明けが待たれる近頃です。

さて、先日の土曜参観日には、多くの保護者の皆様にご参観いただきありがとうございました。参観日は、誰よりも子どもたちが喜んでくれます。たとえ表情からは、その気持ちが感じられないように映っても、お家の方が学校に足を運んで、自分の姿を見守ってくれていることに、子どもの心のなかでは緊張と同時に大きな喜びが生まれます。それはいくつになっても同じだと思います。お仕事やご家庭の都合で、直接学校に来ることができないとしても、その事情を子どもは理解しようとするなかでお家の方の想いに触れもします。参観は、私たち教師にとっても、保護者の方と一緒に子どもを育てている思いを抱ける時間でもあります。子どもにとっても、教師にとっても、保護者の皆さんが、子どもたちを成長させるための最高のパートナーです。

当日は、授業参観と並行して、スマホ時代の子育てを共に考える「サイバー教室」を開催しました。これは、朝の挨拶運動にいらっしやった神奈川少年補導員の方々が、保護者の方々と一緒に子どもたちのインターネット上の安全を守りたいと私に思いを届けてくださったことをきっかけに実現した機会でもありました。2回のお話にて20名近い保護者の方々にご参加いただきました。また、その日の午後には、創立50周年記念実行委員会主催の「学校をきれいにしよう」プロジェクトが行われ、私も実行委員長の小谷野さんと共に参加させていただきました。これは、50周年のお祝いに、子どもたちが大好きな学習広場をもっと好きになってもらおうと企画されたイベントでした。中庭の清掃活動に、最初はどのくらいの方が集まるのだろうと少し不安な気持ちで会場となる学習広場に出ましたが、活動が進むにつれて、保護者の方のみならず、学校開放団体の皆様、地域の皆様、そして、子どもたちも集まり、世代や立場を越えた集まりに、皆さんがこの時を待ち望んでいたのだと感じるとともに、学校や地域を大切にする熱い思いを感じることができたひとときでした。その日は、土曜日ではありましたが、毎日子どもの登下校を見守っていただいている学援隊の皆さんも歩道等に立って、子どもの行き帰りの安全を見守ってくださいました。

小学校は子どもにとって「ふるさと」のような場所だと言われることがあります。周囲に暮らす皆が集い、子どもに関わるなかで、子どもは社会とつながり、大きく成長していきます。地域の皆様をはじめ、学校を支える団体や企業の方々がまた子どもたちを成長させるための最高のパートナーなのです。学校が、地域や社会とつながることの意義はそこにあります。子どもにかかわる多様な方々と目線を揃えて、同じ目的に向かって、私たち大人同士も、それぞれの立場から、活動を通して、新たな価値を創造しようとする中で、子どもたちと共に育てていきたいと考えています。これから先も南神大寺小学校が子どもたちの心にもふるさととして刻まれていくよう、お力添えください。どうぞよろしくお願いたします。